

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Vol.32 Summer 2015



約3年ぶりに春の妖精・ギフチョウを観察することができました！



写真：ギフチョウ
提供：山本征宏

ト ピ ッ ク ス

・海上の森はいま

体験学習プログラムが始まりました！
海上の森調査報告書 第4号が発行されました！

・この人 ～愛知万博から10年を迎えて～ No.1

＜「海上の森」は今 ～参加と連携の器づくり～＞
NPO 法人 海上の森の会 浦井 巧

・展示の目玉

～リニューアル昆虫標本・擬態クイズ～

来 館 2 0 万 人 達 成 ！ ！

平成27年6月6日(土) 午前にあいち海上の森センターの来館者が20万人を達成しました！

20万人目の来館者は、瀬戸市の萩原美穂さんと美晴ちゃん(10)で、親子二人で来館されました。来館は2度目で、海上の森へは散策と森の写真を撮りに来られたそうです。



特集 海上の森はいま 体験学習プログラムスタート！

5月17日（日）の「森の楽校・森のようちえん」を皮切りに、本年度の体験学習プログラムがスタートしました！

体験学習プログラムとは、四季を通じて楽しみながら自然とふれあい、語り合い、考えるプログラムを提供することを念頭に行う県民参加型の体験学習で、「森の楽校・森のよう

ちえん」「里と森の教室」「調査学習会」があります。今年度は既に次のような取組が行われました。

体験学習プログラムは、あいち海上の森センターのホームページや Facebook、twitterなどに募集情報や活動内容が掲載されていますので、興味のある方は是非一度ご覧下さい。



「森の楽校」

マイ・マーク・バッジ作り



「森のようちえん」

むささびロープ



「里と森の教室」

さつまいも植え



「調査学習会」

花・虫・鳥の観察

海上の森調査報告書 第4号刊行

この調査報告書は、平成26年1月から12月までに海上の森で観察された動植物の記録です。

まず、紹介するのは NPO 法人海上の森の会自然環境調査グループが行った「海上の森生物季節調査」です。今回の生物季節調査では、データの解析と観察記録を掲載させていただきました。これを見れば海上の森で、おおよそいつ頃どんな花、野鳥、昆虫が観察できるかが分かる貴重な記録です。

また、哺乳類では、ネコ、犬を除き13種類の哺乳類が観察されました。特徴としてはモニタリングサイト1000が生態系の連続性の指標種としているノウサギ、テン、イタチ及びキツネ(5種類中4種類)が観察されたことです。

猛禽類では、オオタカやハチクマを始め11種類が観察されました。特にオオタカは1

年中飛翔が観察されました。

森林モニタリング調査では、相観による区分として落葉広葉樹林、混交林及び常緑広葉樹林について調査を実施し、過去のデータとの比較検討を行いました。概要としては、林冠を構成していたコナラがナラ枯れなどにより枯死したギャップ付近で植生に変化が生じていました。私が注目したのは、研究紹介で愛知工業大学の赤堀良助先生に寄稿いただいた「海上の森の造成地周辺における水文量の変化」のまとめで、植生の常緑化が推測されるという点です。異なる手法のデータと観察ではありますが、森林モニタリング調査の結果と同じといえます。

興味のある方は、あいち海上の森センターまで申し出てください。調査報告書を進呈いたします。なお、配布部数に達した段階で配布は、終了とさせていただきます。

この人 ~ 愛知万博から 10 年を迎えて ~ No. 1

< 「海上の森」 は今 ~ 参加と連携の器づくり ~ >

海上の森の会は、設立から 10 年が経ち、県と協働して海上の森の保全と活用を図る多様な活動によって、参加者とともに愛知万博の理念と成果の継承を担ってきました。

私は、海上の森センター開設時から 2 年間、県職員として携わり、手探りで万博継承事業や各種の取組みを実施してきました。その後、当時の取組みを「海上の森とともに」と題した本にまとめ、一昨年からは海上の森の会の一員として活動しています。

当時、海上の森については、人々の様々な想いが交錯していましたが、そうしたなかで行われた「古民家再生プロジェクト」は、地元や山口地域の人が大きな原動力となり成し遂げ、これを機に市民参加による活動の可能性を多くの人が感じ取り、ここでの市民活動の原点ともなりました。

万博継承事業である「大学」や「国際フォーラム」も 10 年でひとまずその役割を終えます。また、保全活用計画も、これからの 10 年を展望した第二次計画の策定期間だと思います。

そこで、提案です。かつての里山は、そこに暮らす人々が里山の利用と保全の調和を図り互いに恵みを分かち合ってきました。しかし今、その地に暮らす人によって行えなくなった

里山を再生するには、参加と連携により、人と人、活動と活動を結び付けてこそ達成できる新たな「里山コミュニティづくり」を目指す必要があります。

幅広い層を受入れ、多様な考えや意見、想いを巻き込みながら活動を点から線、さらに平面から立面へと広げていく器づくりです。海上の森は、愛知万博の原点であり、里山再生のモデルであるからこそ、実践でき、挑戦できる場であると考えています。

< プロフィール >

NPO 法人 海上の森の会
理事長 浦井 巧



平成 18・19 年度

あいち海上の森センター 初代所長

平成 23 年度 愛知県農林水産部技監

平成 25 年度 NPO 法人海上の森の会

理事長就任

平成 25 年に当時の取組みを整理した「海上の森とともに」を出版

現在、瀬戸市にある陶磁器業の組合に勤務しながら、海上の森の会で活動している。

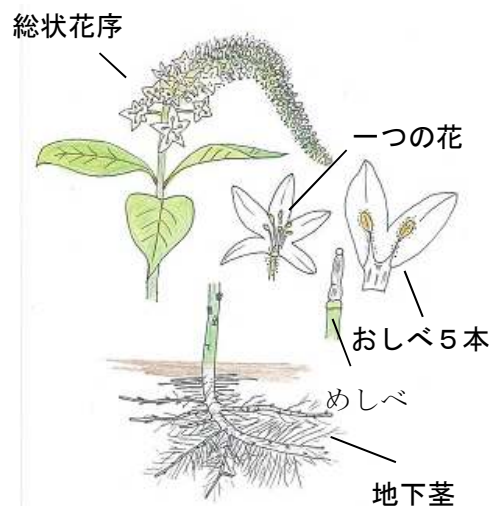
森のなかま オカトラノオ (サクラソウ科)

日当たりのよい山地に生える、高さ 1 m 程の多年草です。ガクと花冠はともに 5 つに裂け、一見、離弁花に見えますが、その基はつながっている合弁花の花です。7 月頃、曲がった長い総状の花を付けます。この花の形が獣の尾を連想させたのでしょう。やさしい感じの花とは逆に、勇ましい名前を付けられた白い花です。また、地方では、イヌノシッポバナとかネコノシッポバナという名もあるようです。

SK I 63

《参考図書》

牧野日本植物図鑑
図鑑 愛知の野草
野辺の花—春・夏編—



展示の目玉 ～リニューアル昆虫標本・擬態クイズ～

平成25年度より展示を開始した「海上の森の昆虫標本」も、続々と種数が増えてきました。

展示している標本は、海上の森に生息する昆虫の一部を標本化したものですが、全て死骸を標本化しております。館内に迷い込んで死んでしまった昆虫や、センター周辺、森の中で死んでいた昆虫を綺麗にし、形を整えて展示しております。そのため、からだの一部が欠損しているものや、翅が傷んでいるものなどがありますが、「森の中で生き抜いた証」としてご覧いただければと思います。

普段森の中で昆虫に出会うことは多々ありますが、すぐに飛んでしまったり隠れてしまったりするため、なかなか本当の大きさや形、色の鮮やかさなどはじっくりと



見ることはできません。そのため、こちらの展示標本において、大きさや色鮮やかさなどをじっくり見ていただければ幸いです。特に「ヤマトタムシ」の色鮮やかさ、光の当たり具合によって変化する色合いなどは是非ご覧いただきたいところです。

また、標本展示コーナーの前には「生きもの擬態クイズ」というパネル展示も行っております。こちらは海上の森で見ることができ昆虫や鳥たちの「かくれんぼ」を写真におさめたものです。1番から12番までの写真、一見するとどれもただの景色のように見えますが、果たして何が隠れているのでしょうか…？

なにがかくれているかな？



センター職員随想リレー かたりべのひと言

いつもと変わらない海上の森に

4月からお世話になってます。私は、海上の森のような里山（もう少し開けていますが・・・）の近くで、生まれ育ちましたので、今のところ違和感なく仕事できております。約30年前の海上の森といわれる以前から、この集落は人家も少なく、人々の行き来もあまりなく、静かな所だったことは記憶しています。戦後の高度経済成長以降、人々の生活様式が変化し、山村から都市へ人が流

れ、過疎化が生まれました。ただ、ここは、都市に近いことから、地元を始め関係者の方々のご努力によりなんとか里山として残っています。県民の皆様も、このような自然豊かな里山と人々の暮らしとの関わりを、ここ海上の森で体験し、考え、いつもと変わらない海上の森となるよう、末永くかわいがっていただきたいと思います。(M)

お知らせ 熱中症にご注意を！

夏本番になり、非常に暑い日が続くようになりました。熱中症は気温・湿度が高く、風のないときや日差しが強いときに起こりやすくなります。

対策として、こまめな水分補給と日陰での休憩、帽子の着用などが有効です。少しでも体調が悪いと感じたらすぐに休みましょう。

編集後記

夏本番となりました！暑い日が続きますが、街中に比べ森の中はやや涼しく感じます。海上の森では緑がより一層深くなり、セミやトンボが本格的に活動を開始しています。

編集・発行 あいち海上の森センター（ムーアカデミー）

発行日 平成27年8月26日

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>



ホームページQRコード